

弘高創立
百四十年
記念事業



弘前高等学校 創立百四十年記念コンサート

～三島せせらぎアンサンブル～



矢部
達哉

ヴァイオリン



横山
幸雄

ピアノ



隠岐
彩夏

ソプラノ



清水
華澄

メゾソプラノ

2023.6.28 [水]

18:30 開演 (18:00 開場) | 弘前市民会館

入場料 (全席自由・消費税込) / 一般 ¥2,000 大学生以下 ¥500

※未就学のお子様は入場をご遠慮いただいております

(入場の際学生証をご準備ください)

チケット販売 弘前市民会館・中三弘前店・さくら野百貨店弘前店
リンクモア平安閣市民ホール・ELMインフォメーション

こちらからもお求めいただけます。(Google フォーム)▶



Program

- シューベルト：
野ばら
- フランク：
ヴァイオリンソナタ
- ショパン：
英雄ポロネーズ
- ブッチーニ：
《ジャンニ・スキッキ》より《私のお父さん》
- ガーシュイン：
《ボギーとベス》より《サマータイム》
- 岩代太郎：
素晴らしき日々へ(「あぐり」のテーマ曲)

代



出演者プロフィール



矢部 達哉
ヴァイオリン

洗練された美しい音色と深い音楽性によって、日本の楽壇のリーダーとして最も活躍しているヴァイオリニストの一人。桐朋学園ディプロマコース修了後、90年22歳の若さで東京都交響楽団のソロ・コンサートマスターに抜擢され現在に至る。97年、NHK「あぐり」のテーマ演奏で大きな反響を呼ぶ。室内楽、ソロでも活躍し、朝比奈隆、小澤征爾、若杉弘、フルネ、デブリスト、インバル、ベルティーニ、A・ギルバート等の著名指揮者と共演。2009年、音楽の友4月号では、読者の選んだ“私の好きな国内オーケストラのコンサートマスター”で1位に選ばれ、2016年文藝春秋2月号で「日本の好きな国内オーケストラのコンサートマスター」で1位に選ばれている。94年度第5回出光音楽賞、平成8年度村松賞、96年第1回ホテルオークラ音楽賞受賞。ソニークラシカル、オクタヴィア・レコード、キングレコードよりCDが発売されている。トリトン晴れた海のオーケストラコンサートマスター、毎年開催されている三島せせらぎ音楽祭アンサンブルメンバー代表。
[<https://twitter.com/TatsuyaYabeVL>]



横山 幸雄
ピアノ

ショパンコンクールにおいて歴代の日本人として最年少入賞を果たし、本格的な演奏活動を開始。クラシック界のトップアーティストとして常に注目を集めている。2010年ショパン生誕200年を記念して行われた14時間に及ぶ演奏会「入魂のショパン」はギネス世界記録に認定され、翌年には自らのギネス記録を更新。さらに、ショパンが生涯で作曲した240曲の全ての作品を3日間で演奏するという前人未踏のプロジェクトを大成功させDVDとしてリリース。また、ベートーヴェン生誕250周年にあたる2020年には、2日間でソナタ全曲を演奏する偉業を成し遂げ、全編収録DVDを発表。最新CDはデビュー30周年記念公演のライヴ録音「横山幸雄 ショパンピアノ協奏曲第1番&第2番他」(Sony Music)。教育者、音楽プロデューサーとしても活躍。数々の音楽大学で客員教授として教鞭を取り、故中村紘子女史の遺志を引き継ぎ日本パデレフスキ協会会長を務めている。
[オフィシャルサイト <https://yokoyamayukio.net>]



隠岐 彩夏
ソプラノ

青森県出身。岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院修士、博士後期課程修了。文化庁新進芸術家海外研究員としてNYで研鑽を積む。友愛ドイツ歌曲コンクール第1位。文部科学大臣賞受賞。日本音楽コンクール声楽部門第1位、岩谷賞(聴衆賞)、E.ナカミチ賞受賞。オラトリオに幅広いレパートリーをもちコンサートソリストを多数務める。22年インバル指揮東京都交響楽団《第九》、ノット指揮東京交響楽団《第九》出演。オペラでは《魔笛》《愛の妙薬》《ラ・ボエーム》等出演。歌曲を活動の軸に据え毎年リサイタルを開催している他、Eテレ「クラシックTV」や20/21年には〈ディズニーオーケストラ〉全国ツアーに参加する等活动は多岐にわたる。今年2月キングレコードより矢部達哉、横山幸雄両氏と共演による初のソロCD『愛しの夜』をリリース、レコード芸術の特選盤に選出された。2015年三菱地所賞、2019年東奥文化選奨受賞。三島せせらぎアンサンブルメンバー。二期会会員。



清水 華澄
メゾソプラノ

静岡県出身。国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外派遣研修員およびローム・ミュージック・ファンデーション在外音楽研究員として渡伊。新国立劇場、東京二期会、日生劇場、兵庫県立芸術文化センターなどのオペラ公演に出演を続け、その卓越した歌唱が高く評価されている。近年では2022年に新国立劇場『ボリス・ゴドゥノフ』女主人役で出演。コンサートソリストとしても、マーラー交響曲第2番『復活』、第3番、第8番『千人の交響曲』、ヴェルディ『レクイエム』、ベートーヴェン交響曲第9番等で国内のオーケストラと共演を重ね、国内外の著名な指揮者から信頼されている。国立音楽大学・大学院准教授。名古屋音楽大学客員准教授。二期会会員。